



北区土建後援会ニュース NO. 2

小池あきら、社保病院存続へ法案修正・成立に全力投球

自民党・みんなの党の妨害許さず4月審議入りを！

昨年秋に新政権が世論に押されて社会保険病院の民間売却をやめ、国の独立法人「地域医療機能推進機構」を新設して公的に存続させる法案を出しました。

しかし野党になった自民党やみんなの党がこれに非難を浴びせ、民主党内部にも動揺が広がり、法案成立があやうくなりつつあります。

●日本共産党は法案早期成立へ全力

日本共産党の小池あきら参院議員と、高橋千鶴子衆院議員は、東京北社会保険病院が「地域医療振興協会」に委託して産婦人科や24時間小児救急が成り立っており、この医療体制を維持・拡充できるよう現法案に最小限の修正を行うとともに、何としても4月中に審議に入り早期成立を図るよう全力で取り組んでいます。

●みんなの党が推進機構を非難 昨年11月4日予算委員会でみんなの党・渡辺喜美議員が「地域医療機能推進機構」を「こういうのは非常におかしい。地方に移管するのがスジ」「何で国が新たな独立法人を作るのか」と嘔みつきました。

●自民党議員も区議会とあべこべの態度 今年3月の厚労委員会では自民党の衛藤参院議員が「社会保険病院を売却し保険財政に返還せよ」と迫っています。北区議会の自民党議員が「現行医療体制の継続を」と発言していたのとあべこべです。

●長妻大臣まで大後退の答弁 これに対し長妻厚労大臣の答弁は「整理機構 RFO

に社会保険病院の売却を指示している。売れ残った場合『推進機構』に移すが、その後も自治体等に売却できれば行う」と驚くべき答弁をしています。

社会保険病院問題を民営化路線に引き戻そうとするたくらみは絶対許せません。

北支部大会でそねはじめ前都議あいさつ

日本共産党そね前都議は、四月四日の北支部大会で、次のようにあいさつしました。

「北支部旗開きに小池あきら議員が参加し約束した三つの仕事に全力をあげます。

第1は土建組合員の仕事確保で、北区では都営住宅など生活密着公共事業をさらに増やすよう9人の区議団とがんばります。

第2はマスコミが「隠れ補助金」などとすじちがいの非難をしている建設国保事業への攻撃をはね返し、しっかり守ることです。

第3は、北区も民間委託で低価格入札がはびこっています。公契約条例制定でまともな賃金を保障させることです。

昨年、国民の審判で誕生した民主党政権が、公約を次つぎ破り、「何のための政権交代だったのか」「共産党ががんばって」という激励をいただきます。歴史的チャンスである参院選に何としても勝たねばと思っています。」